

第2回茅野市地域創生総合戦略有識者会議 会議録

開催日時	令和3年2月18日(水) 午後6時30から午後8時まで		
開催場所	茅野市役所7階704、705会議室・WebexによるWeb会議		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍聴者の数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容(概要)		
	<p>会議次第</p> <p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 会議事項</p> <p>(1) 茅野市スーパーシティ構想(案)の概要について(資料1) －事務局より説明－</p> <p>(2) 茅野市スーパーシティ構想(案)の内容について(資料2) －事務局より説明－</p>		
事務局			
事務局			
委員	<p>2点お伺いしたい。まず1点目、健康を中心に据えていくという視点はとても良いが、若い人たちを増やしたいという中で、別荘や東京とのつながりを考えても教育という視点は必要だと思う。健康を最初のステップに、教育に関しては次の段階で考えていくこととして、今回は、話がぶれるのであえて入れていないという認識で良いか。コロナウイルスによって教育が大きく変わってきているが、何か考えているのかお伺いしたい。</p> <p>2点目は、P9のデータ活用ポリシーについて。「one for all、all for one」という言葉はそのとおりだと思うが、その下の「一人のデータが市民みんなの暮らしを豊かにし、市民みんなのデータが一人の暮らしを豊かにする」、この部分が良く分からない。個人的には、一人一人のデータがその人を守り、暮らしを豊かにする。そして市民みんなのデータが行動変容を促し、市民の暮らしを豊かにするということかと捉えているが、ご意見をお聞かせいただきたい。</p>		
事務局	<p>1点目の教育について。第5次総合計画の中でもお示ししているとおり、教育行政については市としてしっかりと取り組んでいく。ただ、スーパーシティ構想においては、5万人規模の都市としてできることをやっていこうという考え方が基本。多岐にわたる総花的な計画を示しても国の方から実現性がないと捉えられてしまい、採択の可能性が下がる恐れがある。派生して取り組みがなされるものと考えてはいるが、中心から外しているのが現状。</p>		
委員	<p>良く分かった。その考え方には賛成。</p>		
事務局	<p>2点目のデータ活用ポリシーについて。先生がおっしゃることはもっともであり、まだ表現に迷っているというのが正直なところ。一人のデータ、それぞれのデータを提供することで、他の人も幸せになれる。そうした支え合い、「ゆい」の思いでデータを活用していきたいという思いがある。表現については協議を</p>		

	させていただきます。
市長	移住交流事業を進めていくと、福祉・医療、子育て・教育が重要なキーワードになる。そこは、今回の予算編成の中でもしっかりと守っているところ。(移住先として)最後に茅野市を選んでいただくためにはそこが大切になってくる。データ活用ポリシーについては、ご意見をいただきながら詰めていきたい。
委員	2点お伺いしたい。まずP13の「見守り、自然災害発生リスクの把握等による安心・安全」におけるAll in アプリについて。位置情報を把握して見守りにつなげるとのことだが、スマートフォン自体はLPWAの通信ができない。市民の安心・安全の実現に向けて、市民全員にLPWAの発信機を配るイメージか。
事務局	電波があるところであればスマートフォンでも位置情報を把握し、災害の発生リスクや避難場所の案内ができる。一方で、山中などの電波が届かないところでは、LPWAの信号に頼らざるをえない。場所によってスマートフォンとLPWA発信機を併用するようなイメージでいる。そのため、すべての市民に配るものではなく、必要に応じて使いわける想定でいる。
委員	スマートフォンのアプリ側でも位置情報を送るイメージということか。
事務局	そのとおり。ただ、あくまでオプトイン(利用者の事前承諾)を前提で考えている。
委員	構想全体に記載されている「福祉21茅野」がどのようなものか理解していないが、茅野市全体に広がっている取り組みなのか。P6に記載されているとおり、スーパーシティ構想の中で再構築するということだが、「福祉21茅野」の問題がどのようにアップデートされていくのかが気になる。
事務局	「福祉21茅野」というのは、資料の冒頭にも記載させていただいたが、全国に先駆けて地域包括ケアシステム(地域の包括的な支援・サービス提供体制のこと)を実現してきた取り組み。茅野市では、医療・介護・福祉を、諏訪中央病院を中心に連携し取り組んできた。ここは大きな強みと捉えている。一方で、20年も前に構築したものであるため、人海戦術でやってきた仕組み。人がいたからできたことも、人口減少の中で人が少なくなってくるとできなくなってくる。そこで、データ連携や、先端技術の活用によって省力化できる部分は省力化しながら市民の健康維持と安心・安全を実現する次世代のデータ利活用型地域包括ケアシステムを茅野市がモデルになって作っていきたいと考えている。
委員	やりたいことは同じだが、システム化をするというイメージか。
事務局	例えばカルテ1つをとっても、それぞれの病院にカルテがあり、また、介護の事業所でも記録をとっているが、現在は情報の連携ができていない。連携がとれていけば検査や問診の手間が省けるが、それぞれの場所でやる必要がある。データの連携や、先端技術の利活用によって、そうした手間を省き簡素化したい。
市長	「福祉21茅野」について補足。約20年前に福祉21ビーナスプランとして、茅野市地域福祉計画を策定した。これはマンパワーが多かった団塊の世代の方が

	<p>中心になって策定した計画。基本的には人手がかかることを前提とした計画になっており、それを今も継承している。この先10年後を想定すると、圧倒的に支える人手が足りなくなる。基本は変えずに新しい技術を加えることで、今まで以上のことをやっていければ良いが、そうでなくても現状を維持できるような体制を整えたいというのが基本。全く人の手を介さないのではなく、人と人の関わりが最終的には大切になるが、人手が足りなくなる部分を技術で補いたいということ。</p>
委員	<p>スーパーシティというとなんか難しく聞こえるが、今の仕組みを効率化し、単純に便利になるという視点であれば市民も受け入れやすいように思う。</p>
委員	<p>すごく上手くまとまっている。茅野市のいろいろな計画では、色々と盛り込みすぎていて焦点がぼけているものが多かったが、今回は、静養地から出発し、文化が根付いた蓼科高原の本来の良さをうたいながら作り上げているところにも関心した。「ゆい」と自立というワードは相反するようであるが、どちらも大切であり、共存していく姿が示されているのもよい。</p> <p>また、P5の地元市民に加え、別荘市民、交流市民等、様々な市民が生活しているというのも茅野市ならではの、良い表現。地元市民以外にも市民がいるというのはそのとおり。近頃、別荘を単に別荘として買い求める方が少なくなっている。「別荘」を買っても、長期滞在をしたり、二地域居住をする方が多い。この計画を通して、市民の皆さんが別荘市民も同じ「市民」として認識していただければありがたい。</p> <p>地方都市のモデルケースになることが国家戦略特区の意義。行政は前例の有無や、他の自治体がやっているかどうかを気にするが、他の自治体がないことをやるからこそトプランナーを走れる。こうした前例のないことにも取り組んでいければよい。素晴らしい計画。実現できればよい。</p>
委員	<p>感想だが、デジタルの面のみではなく、ソーシャルディスタンスを保ちながらも心を温かくする、ということがもっと見ればよいのでは。血圧の低下という身体的な健康のみならず、精神的な、心が育つということにつながる取組になればよい。</p> <p>子どもを持つ母親としては、高校生以上であればスマートフォンを持てるため居場所が分かるが、小中学校ではスマートフォンが禁止されていることから、GPSを持たずに登下校しないといけないという点に不安を抱えている。どこにいるかがわからない、というところもケアしていただければありがたい。</p>
事務局	<p>基本的には技術ありきではなく、この地域で育まれてきた支え合いの「ゆい」を、先端的な技術の力を借りることによって人の幸せにつなげていく。技術だけでは人の幸せは実現できない。そうした考えを基本に取り組みでいきたいと考えている。</p> <p>小中学生がスマートフォンを持たず、居場所が把握できないという点で活躍できるのがLPWAの発信機。現在、北山小学校の生徒にLPWAの発信機をもつていただく実証実験を行っている。市内全小中学校にも展開できればと考えている。</p>
委員	<p>素晴らしい計画であり、ぜひ実現していただきたい。</p> <p>1点、P6についてお伺いしたい。茅野市と同規模の地方都市への展開を目指す、とあるが、最終的には他の地域に茅野モデルを販売するということか。それとも</p>

事務局	<p>ソフト、ハードを提供するという認識で良いのか。</p> <p>ここに記載している地方都市への展開は、モデルを売るということではなく、地域のリソースのみで自立できるということを示すことで、茅野市でできたことであれば同規模の自治体でもできる、ということを実証したいという思い。そうした中で諏訪 6 市町村や県外の自治体への展開が生まれ、他の地域との連携が生まれていくと考えている。こうした計画の策定にあたって、他の多くの自治体ではコンサルティングを入れているが、茅野市は自前で作成している。そうしたところも国へのアピールとして示せればと考えている。</p>
委員	<p>仮にスーパーシティ構想が不採択であっても進めていただきたい。</p>
委員	<p>健康というわかりやすいワードを使って、便利になることがわかりやすいプレゼンだという感想を持った。健康にはいろいろな意味もある。健康というキーワードを通してどのように市民の合意形成を図っていくのか。課題とは思わないが、そのように思いながら聞いていた。ぜひ茅野市の中で実現してほしい。</p>
委員	<p>「ゆい」というキーワードがあることで、スーパーシティの中でデータを吸い上げられるイメージから、情報をつないで活用するというイメージがきれいに見える。市民が提供したデータをどのようにつないで活用してくれるか、まちの中のことが、どのようにまちの住みやすさにつながるのかが分かる。「ゆい」という言葉が、地元の市民や、交流市民、別荘市民をつないでいくということがわかりやすい資料。</p>
委員	<p>何をやるべきかが明確でよくまとまっており、とても良い。1 点お伺いしたいが、スーパーシティに応募するとき重要なのは規制緩和。どこが規制、障害になって、こうしたことが実現できなかったかが別に示されているとよいと感じた。法律だけでなく、実際のノウハウのところについても水平展開するためには必要な部分なので、そこを記載しておく内閣府へのアピールになるのではないかと。</p>
事務局	<p>規制緩和については、まだ研究しているところ。これから明確にしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>立場上、若者としての目線から意見を申し上げる。若い人は、身体的な健康だけではなく、精神的な健康、経済面も意識している。子育てもそうだが、未婚率も上昇している中で、シングルも含めた未婚者にもどのように訴求していけるかが重要ではないか。ウェルネスという視点であれば、フィットネス、サイクリング等の入り口や展開も考えられる。そうした部分にもデータを活用していただければよいのではないかと。</p>
委員	<p>素晴らしい構想の第一歩が見えるような内容。話を聞いていて気になっていたのは、実現するためにどのような体制を取るのかということ。その点についてお教えいただきたい。</p> <p>茅野市は農業が盛んだが、農家の方は苦勞している。スーパーシティの中で、農業はどのような位置づけになるのかも教えいただきたい。どのような取組ができるのかをまちづくり懇談会等で市長から聞いていただいているのか。</p> <p>これが実現すれば長生きできそうな気がする。ぜひ区域の指定を受けられるよ</p>

事務局	<p>う頑張っていたきたい。</p> <p>これからどのような方と検討を進めるかという点については、今は構想、イメージを国に伝え、区域の申請をしていく段階。国からの区域指定を受けたところで、国や、要素事業のプレーヤー等と協議をしながら具体的な計画を策定していきたいと考えている。</p> <p>また、農業については、資料 P13 の先端的なイメージの中で農業の IT 化についても触れている。今回はまず健康を中心とさせていただくので農業はサブになってしまうが、併せて検討してまいりたい。</p>
市長	<p>農業については、LPWA の実証の中で遠隔草刈り機の開発にも取り組んでいる。うまく取り入れていければ良いと考えている。</p>
委員	<p>スマートなわかりやすい資料。今の時代、健康というと身体的だけでなく、精神的なものも重要。「ゆい」の考えの中で、市民の SNS 的な、誰もがいつでもどこからでも相談できるようなアプリができ、バーチャルの「ゆい」ができればなお一層健康になれるのではないか。健康、「ゆい」というのは茅野らしい良いキーワード。</p>
市長	<p>ご意見を生かす形で資料を詰めていきたい。冒頭にも申し上げたが、スーパーシティへの応募は、スーパーシティに選ばれることそのものが目的ではない。あくまで総合戦略の要素事業を実現するための取組。今回お示した取組は、スーパーシティの可否に関わらずしっかりとやっていきたい。今回、こうしたものをしっかりと作り上げて市民の方に方向性を提示させていただきたいと考えている。</p>
事務局	<p>4 その他</p> <p>次回会議は、3月23日（火曜日）18時30分からを予定している。会議内容は、本日お示したスーパーシティ構想の最終案の協議に加え、第2次総合戦略の改定についても協議いただきたい。また、第1次総合戦略の総括を書面にて行いたいと考えている。会議の開催方法はコロナウイルスの状況で決めていきたいと思うが、改めて会議通知申し上げる。</p> <p>（その他意見なし）</p> <p>5 閉会（20:09）</p>